

日本の海岸線を歩く会 報告書

2020年 11月 20日

報告者：友松知宏

1. 計画の概要

ブロック名	九州(第6回-1)
歩行区間	スタート地点：長崎県諫早市/JR小長井駅 ゴール地点：熊本県荒尾市/JR荒尾駅
実施期間	令和2年 10月10日(土)～10月15日(木)
概算歩行距離	98.0Km
1人当費用概算	92,200円

2. メンバー表

	役割・分担	氏名	ワゲル期	備考(ワゲルとの関係等)
1	リーダー・記録	友松知宏(80才)	8期	090-7774-8559 鳥取県
2	会計	友松和子(80才)		友松の妻 鳥取県
3				

3. 歩行概要

	月日	出発地～	到着地	距離	歩行者	備考(宿泊)
1	10月10日	JR米子 19:24=(やくも30)=岡山=(のぞみ59)=23:35	博多		友松・和子	ホテルFORZA 博多
2	11日	博多 06:33=(かもめ3)=08:14 諫早(オリックスレジャー) 08:50=(車)10:13 雲仙駅=(ロープウェイ)=妙見駅～(登山) ～12:30 雲仙駅=(車)=14:00 小長井駅～(歩行)～18:40 道の 駅かしま=(車)=19:00 白石町横手=(事故・事故処理)= (タクシー)=肥前山口駅 22:34=(長崎本線)=23:00 佐賀駅 ～23:20 ホテル一条(泊)		17.6		白浜町横手で事故 ホテル一条
2	12日	佐賀駅 07:42=長崎本線=肥前山口駅 08:05～11:10 前日の 事故現場 11:20～16:50 道の駅かしま～肥前七浦駅 17:26= 鳥栖=大牟田=荒尾駅～20:30 ホテルAZ		22.6		ホテルAZ
3	13日	ホテルAZ 07:45～08:45 大牟田 09:00=(西鉄)=09:15 柳川駅 ～下百乗船場 09:30=(川下り)=御花乗船場～(街並観光) =(タクシー)=本吉屋本店(ウナギ専門店)～柳川駅 ***ここから別れて歩く*** (和子) 柳川駅 13:15～15:35 JR 渡瀬駅 16:24=肥後船小屋=博多= (のぞみ56)=岡山=(やくも27)=22:10 米子(帰宅) (知宏) 柳川駅 13:22=西鉄柳川線=開駅 13:39～13:55 JR 渡瀬駅～ 16:00 大牟田駅 17:26=17:20 荒尾駅～17:40 ホテルAZ		4.4 10.5 10.4		ホテルAZ

4	14日	荒尾駅 07:52=大牟田=鳥栖=09:45 肥前山口～デイリーヤマザキ (佐賀西与賀)～ファミリーマート (佐賀川副) 15:22=(タクシー)=15:50JR 佐賀駅 16:20=(長崎本線)=鳥栖=(鹿児島本線)=17:30 荒尾駅～17:50 ホテルAZ	18.7	友松	ホテルAZ
5	15日	荒尾 07:52=大牟田 08:24=(西鉄)=柳川駅 08:40～田脇バイパス～14:22 ファミリーマート (佐賀川副)=(タクシー)=15:00 佐賀 15:52=(ハウステンボス 20)=博多=(のぞみ 52)=岡山=(やくも 25)=21:20 伯耆大山駅	13.8	友松	帰宅

98.0Km

4. 自動車事故

歩行初日、レンタカーで事故を起こし、車を破損。熊本駅までの予定であったが、荒尾駅で終えて、残りは後日歩きなおすことにした。事故のあらましは下記の通り。

場 所：佐賀県杵島町白石横手白石町横手 852 番地 国道 207 号脇の空き地

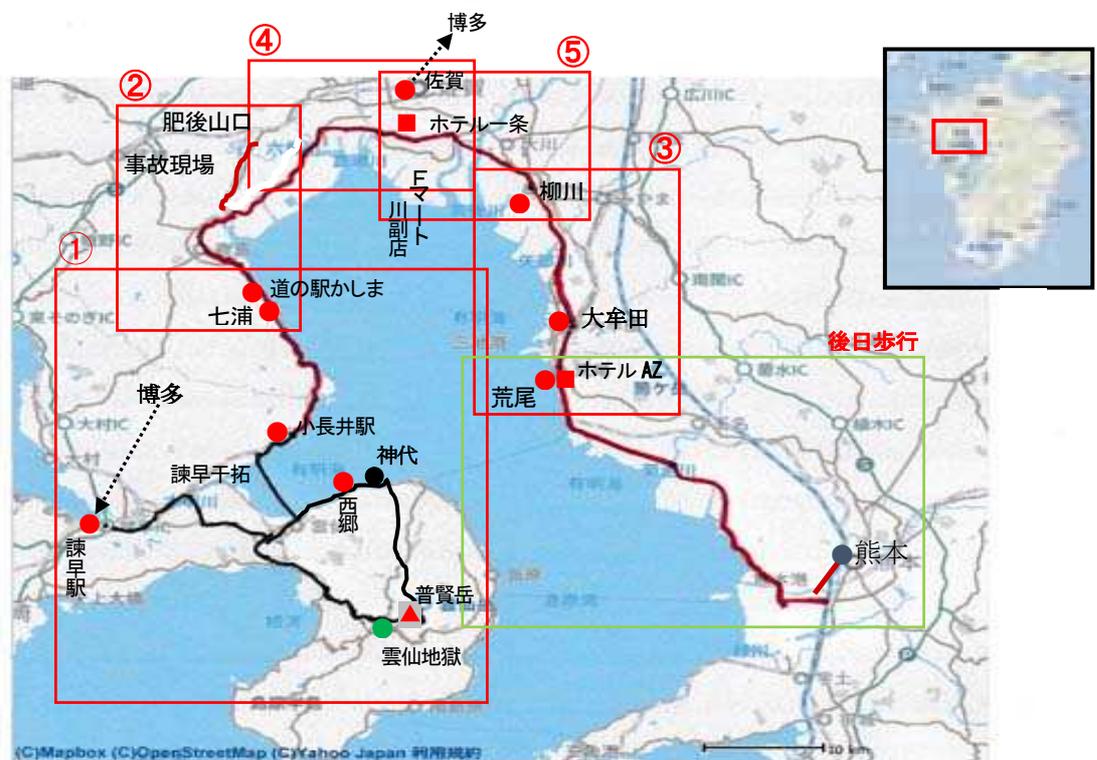
日 時：10月11日 19:00頃

状 況：次の日の目的地近くに宿を定め、その日の歩行予定が終わると、宿へ移動しながら、次の日の中継点を確認した。日没で目印の武富ラジエータ (株) を見落とし、通り過ぎたことに気がつき、空き地に車をいれて、戻るために国道に出ようとして、道端の縁石に乗り上げて動けなくなり、保険会社に通報。警察の現場検証が終わり、レッカー車が車を持ち去り、2 時間後タクシーで肥後山口駅に行き、JR で宿泊予定の佐賀へ向かった。

事故の原因と反省：

往来する車のライトに幻惑されて道路の状態がよく見えなかったのと、ラッシュ時で車の往来が激しく、道に出るのにあせりがあった。どんな場面でも冷静でなければいけない。

5. 地図



6. 歩行詳細

10月10日 (土) 曇り

19:00 タクシーで自宅出発。19:24 発岡山行やくも 30 に乗車。岡山から 22:09 新幹線のぞみ 59 号博多行。23:51 博多着。駅前のホテルフォルツアにチェックイン。

10月11日(日) 晴れ

06:33 博多発特急かもめ3号に乗車。08:14 諫早着。駅前のオリックスレンタカーでダイハツ軽を借りる。08:50 出発。前回歩いた国道251経由で雲仙へ。09:40 雲仙雲仙地獄を見学。ここは火山の噴気を上げているところで、キリシタン弾圧の跡地である。10:13 雲仙ロープウェイ駅に到着。途中、入山料200円を納める。

10分で妙見山頂駅へ。妙見神社に詣で、そのわきにある細い登山道を登る。それほど荒れた道ではないが、寝不足もあつてか持病のメニエル症候群によるめまいがきつく、足元がふらつき、まともに歩けない。頂上まで登る予定であったが、国見岳の分かれで引き返すことにする。標高差が200mしかないが、70mほど下らなければならず、道も険しそうなので、山頂を眺めるだけにして下山した。

普賢岳火砕流遭難事件の元になったドーム(平成新山)は見ることができなかったが、目の前の山頂のすぐ奥にあるだろうと心に思い描き、遭難者の冥福を祈った。



普賢岳登山地図



雲仙地獄



妙見神社

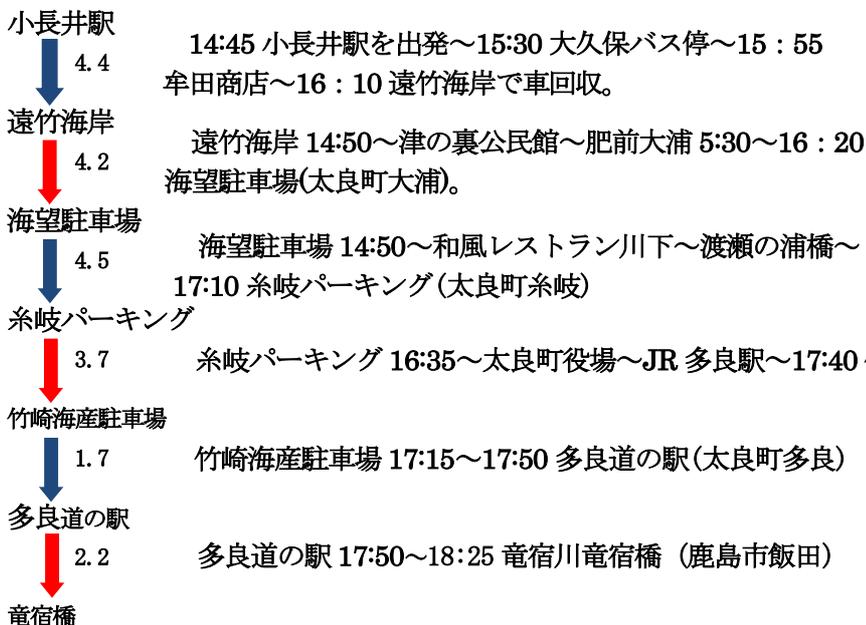


普賢岳

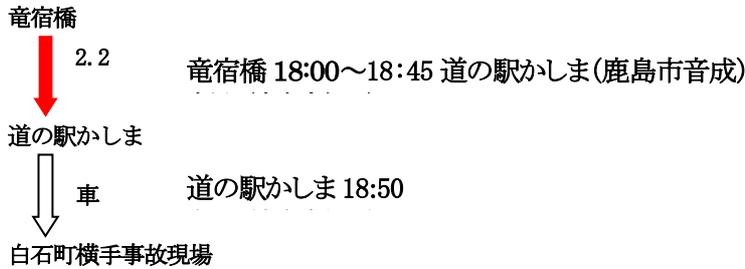
下りは有明海側の神代(コウシロ)に出て、西郷駅で前田呉服店に立ち寄る。前回、たいへん親切にして頂いたお礼をかね、手土産にした鳥取の梨を持参した。再会できたことをたいへん喜んで下さり、後日礼状を頂いた。

諫早干拓堤防をわたり、今回の歩行出発点になる小長井駅に向かう。駅の手前のお好み焼きの店アイランドに寄り、焼きそばを食べる。ここは前回、小長井からの列車を待って2時間を過ごさせてもらった場所で、やはり覚えていて下さり、帰り際お店に出す福神漬けをラップに包んで下さった。

ここから二手に分かれ、歩行と車行のリレーとする。 ➡ 友松、 ➡ 和子である。



小長井駅(無人)



道の駅かしま



道の駅かしま 18:50⇒ 車 ⇒ 国道 207 脇の空き地 (事故現場 = 鹿島市白石町横手 852 番地)

翌日の中継点に予定した光武農機手前の空き地を確認しようと徐行したが、対向車のライトに幻惑されて、見過ごしてしまった。空き地に車を乗り入れ、地図を確認。元の方向に戻ろうとして縁石に乗り上げた。

車は亀の子のように縁石に乗ってしまい、前にも後ろにも動かない。国道に車の列ができ始めて焦った。反対方向から来た車が空き地に入ってきて、二十歳半ばと思われるカップルが「無理をせず、保険会社に知らせて、車屋に見せた方が良い」と助言してくれた。

保険会社に通報。レッカー車を手配をしてもらい、警察にも知らせが行き、まもなくパトカーが来てくれた。そうこうするうち、光武農機の社員と思われる方がきて、「車を移そう」と言って、ホークリフトを持ってきて、車を移動してくれた。ラジエータから水が漏れていることがわかり、動かすことはできないと得心し、1時間半ほどして駆けつけてきたレッカー車に車を預けた。

警察官が時刻表を調べてくれて、少し遠いが肥後山口駅に行くのが良いと教えてくれ、タクシー会社の電話番号も教えてくれ、3時間遅れにはなったが、予約した佐賀のホテル一条に入ることができた。

最初に声を掛けてくれたカップルは、一件落着くの見届けた後、名前も告げず立ち去った。

これらのことが、周りに明かりがなく、携帯電話をライト代わりにしなければ、足元も危ない中であつたので、本当に助かった。関わった皆さまにお礼を申し上げたい。

翌日オリックスレンタカーに事故の報告を電話でして、必要なら店に行って直接報告すると言ったが、その必要はないと言われ、その後、車の使用なしで、二人一緒に歩くことができた。

宿で携帯電話を紛失したことに気がつき、肥前山口から事故現場へ最初に歩くことにした。

10月12日(月) 晴れ

佐賀駅 07:42 = 長崎本線 = 08:05 肥前山口駅 ~ 08:30 農産物直売所「だいちの泉」(駅南口交差点)で弁当を買い朝食。09:00、行くべき道をやや東にそれた、地図にない南への道を歩き、

1 kmほど遠回りした。道が東西に走る農道でなくなり、あるはずのJAのガソリンスタンドが西方向に見えて、間違いに気づき、農道を右折。20分ロスで、207号線にもどった。田んぼの中の207号線を休憩をとらず、ひたすら歩く。それが正解であつた。

事故現場が遠くに見えて、白い車が止まり、人が車に乗り込む様子が見えた。和子が自分のスマホで携帯の番号を鳴らし、その男性も何か感じたらしく、車を降りた。11:10 現場到着。

男性の手に携帯があつた。事情を話し、携帯を返してもらった。文字通りタッチの差であつた持ち去られても、警察の遺失物係経由で戻って来たろうが、その時に戻らなければ、以後の歩行に不便が生じたに違いない。空き地の片隅に落ちていたとのこと。奇跡の生還であつた。お礼を言い、10分ほどお話ししてお別れした。

11:40 肥前竜王駅前 ~ 13:00 鹿島バイパスの別れ(鹿島市井出)のファミリーレストラン「ジョイフル」に入る。ドリンクバー付きランチで久しぶりにまともな食事。

14:00 出発。15:15 セブンイレブン(肥前市浜町) 15:40 ~ 16:50 道の駅かしま ~ 17:00 JR 肥前七浦駅。17:26 同駅発 = 長崎本線 = 18:31 鳥栖駅 18:45 = 鹿児島本線 = 20:09 荒尾駅 ~ ホテル AZ

10月13日(火) 晴れ

ホテルAZ 07:45~08:45 大牟田駅 09:00 = 西鉄柳川線 = 09:15 柳川駅 ~ 09:30 川下り舟乗船 = (柳川下り観光) = どんこ舟という底が浅い舟で1時間。柳川の水路を漕ぎながら兩岸の景色をガイドし、唄を聴かせてくれる。途中河の駅(売店船)があり、ソフトクリームを買った。



10:30 御花(立花氏庭園)前で下船。あいにく御花は本日休館。北原白秋記念館も休みであったが、隣の白秋生家から庭伝いに入ることができた。映画「この道」のポスターが貼ってあった。懐かしい。



売店で、この地伝統の吊り雛をみた。他の土地にもあるらしいが、ここの物が最高とされている。

タクシーで本吉屋へ行き、昼食にする。藁ぶきの古民家の座敷に案内される。ここは江戸中期からのウナギの店で、観光客のお目当ての、五つ星クラスの老舗である。



柳川駅から和子は渡瀬駅まで歩き、そこから米子に帰り、知宏は西鉄で渡瀬に行き、そこから大牟田まで歩き、JRで荒尾に行く。

和子

柳川駅 13:15 ~ 西鉄中島駅 ~ 15:35 渡瀬駅 16:14
= (鹿児島本線) = 18:24 筑後船小屋 17:04 =
(つばめ 330) = 17:28 博多 17:39 = (のぞみ 56)
= 19:22 岡山 20:05 = (やくも 56) = 22:19 伯耆大山駅 = (タクシー) = 23:00 帰宅

知宏

柳川駅 13:22 = (西鉄線) = 13:39 開駅 ~ 14:10
JR 渡瀬駅 ~ 17:00 JR 大牟田駅 17:26 = (鹿児島線) =
17:34 荒尾駅 ~ 18:00 ホテルAZ (泊)



JR 渡瀬駅

10月14日(水) 晴れ

荒尾駅 07:52=大牟田=鳥栖=09:45 肥前山口～広大な佐賀平野を歩く。日本有数の穀倉地帯で、米と麦や大豆との二毛作が行われている。近年造られた干拓地には縦横に区画整理されたクリークと、有事には滑走路に使えるような広い道路が走っている。人家がないので食べ物屋もコンビニもなく、1時近くになってようやく1軒、ラーメン屋を見つけて昼食。



ひっそりとした肥後山口駅



広大な田畑とクリーク



クリークの要所々々に水門

13:20 デイリーヤマザキ (佐賀西与賀)～15:22 ファミリーマート (佐賀川副) =タクシー=15:50
JR 佐賀駅 16:20= (長崎本線) =鳥栖= (鹿児島本線) =17:30 荒尾駅～17:50 ホテルAZ

10月15日(木) 晴れ

荒尾駅 07:52=大牟田 08:24= (西鉄柳川線) =08:40 柳川駅

2日前に舟から見た柳川の街を歩く。水路が街中を巡っており、なるほど水郷の町と得心。ウナギを食べた元吉屋のまえの通りを歩いた。落ち着いた街並みに歴史を感じる。御花を訪ねようかと思っただが、遅くなるので止めた。



田脇バイパス～14:22 ファミリーマート (佐賀川副)
=タクシー=15:00JR 佐賀駅 15:52=(ハウステンボス 20)=博多=(のぞみ 52)=岡山=(やくも 25)
=21:20 伯耆大山駅=帰宅



佐賀駅

6、費用

交通費	JR 米子⇄博多	63,990 円
	JR 九州内移動	9,390 円
	レンタカー	34,980 円
	タクシー	11,660 円
	<u>小 計</u>	<u>120,020 円</u>
宿泊費等	宿泊費	37,900 円
	食事代	9,237 円
	吉木屋	9,020 円
	<u>小 計</u>	<u>56,157 円</u>
雑費	入場料等	6,780 円
	その他 (送料)	1,390 円
	<u>小 計</u>	<u>8,270 円</u>
<u>合計</u>		<u>184,447 円</u>

一人当たり 92,224 円

以上